

石央森林組合 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2025年8月20日

石央森林組合
代表理事組合長 西田 清久

◆経営方針

林業経営を通じて、森を愛し、森を活かし、森と共生する人と地域を育み、循環型社会の実現に貢献する森林組合を目指します

◆目指す姿

地域森林の適切な利用・保全と林業経営の更なる発展

SDGsの達成に向けた取り組み

森林保全

地域の森林整備を通じ、国土保全、水源涵養、温室効果ガス吸収等、森林が持つ公益的機能の向上に努めます

<具体的な取り組み>

地元伐採事業体と連携した再造林一貫作業の実施／浜田市豊かな森づくり推進支援事業を活用した森林整備の実施

— 関連ゴール —



教育への貢献

当組合のリソースを最大限活用した木育による森林環境教育を実施し、林業への関心を深めることを目指します
また、組合員へ各種機械の講習会を実施し技能向上を図ります

<具体的な取り組み>

小中高校生への職場体験や出張授業／地域のお祭りやイベントの参加や協賛／林業機械の講習会の実施

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。
2030年までに持続可能より良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

安全衛生

労働災害の防止や職員の健康維持のために職員一人一人の安全・健康に関する様々な機会を提供することに努めます

<具体的な取り組み>

安全衛生大会の開催／経営トップによる安全パトロールの実施／ハチトラップの設置／安全用具の支給／50歳以上の職員への人間ドック受診

— 関連ゴール —



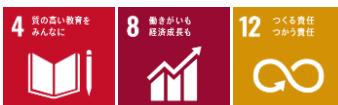
働きがいのある職場づくり

職員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します

<具体的な取り組み>

丁寧な教育指導による新規就労者への就業支援／コンテナ苗の生産や新たな林業技術の導入による生産性や所得の向上／永年勤続職員の全国森林組合大会への参加

— 関連ゴール —



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS